

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月29日

評価者	歴史まちづくり推進担当担当部長 佐々木聡
評価者	市民防災部長 永野英樹
評価者	都市景観部長 古賀久貴

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	0-(4) 歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	0-(4) 歴史的遺産と共生するまちづくり
------------	----	-----------------------	-------	-----------------------

1 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	551	895				
人件費	16,993	17,016				
総事業費	17,544	17,911				

2 担当部評価

(1) 計画の推進に向けた達成状況の分析

歴史まちづくり推進担当

中長期的な目標として世界遺産登録を目指していくため、イコモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できる新たなコンセプトの構築に係る調査、研究を行った。

また、世界遺産登録に係る啓発を目的に、本市が共催している神奈川県教育委員会主催の「文化財保護ポスター事業」については、新型コロナウイルス感染症拡大対応のため、令和2年度(2020年度)及び令和3年度(2021年度)の本市の共催を見送ったが、令和4年度(2022年度)は再実施の予定である。

市民防災部

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画が立てられず、日本遺産の構成文化財の魅力を伝える効果的な事業の実施ができなかった。

都市景観部

鎌倉市歴史的風致維持向上計画に登載した構成事業の進行管理・評価を行うことにより、事業の推進を図ることができた。また、令和3年度は令和2年度に実施した中間評価の結果を踏まえ、計画の一部見直しについて検討し、変更計画案を取りまとめるとともに、変更計画について国へ認定申請を行い、国の認定を受けた。併せて、構成事業の更なる推進を図るため、国支援制度の活用による事業財源の確保について検討し、令和4年度から令和7年度を計画期間とする社会資本整備総合計画(街なみ環境整備事業)を作成し、国の承認を得た。これらのことから、「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進に向けた取組は適切と評価している。

(2) 今後の方向性

歴史まちづくり推進担当

世界遺産登録に達成しうる新たなコンセプトの確立に向け、引き続き調査・研究を行い、中長期的な目標として世界遺産登録を目指す。

また、世界遺産登録に係る啓発を目的に県内の中学生を対象として実施する「文化財保護ポスター事業」については、市内の中学校をはじめとする教育機関等とも連携し、令和4年度(2022年度)以降も取組む。

市民防災部

日本遺産の構成文化財の魅力を伝える情報発信に取り組むとともに、観光視点での積極的な活用を検討していく。

都市景観部

鎌倉市歴史的風致維持向上計画に登載した構成事業及び歴史的風致形成建造物の指定について着実な推進を図り、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を進めていく。構成事業を着実に推進していくために、国支援事業の活用を図るとともに、官民連携の推進について検討していく。

(3) 施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	歴史-01	世界遺産条約登録事業		12	5,635	5,647	現状維持	B	現状維持
	市民-11	日本遺産事業		478	3,794	4,272	改善・変更	B	改善・変更
	都景-02	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業		405	7,587	7,992	現状維持	A	現状維持

(4) 貢献度に関する分析

歴史まちづくり推進担当

世界遺産条約登録事業については、世界遺産登録に達成しうる新たなコンセプトの確立に向け、引き続き調査・研究を行い、中長期的な目標として世界遺産登録を目指しているが、なかなか新たなコンセプトの確立に至っていない。

市民防災部

日本遺産ストーリーを今まで以上に観光視点での積極的な活用が出来るよう、今後、その活用策を検討していく。

都市景観部

鎌倉市歴史的風致維持向上計画に位置付けた構成事業を推進していくことにより、本市の「歴史的遺産と共生するまちづくり」の推進が図られていくものと考えます。